

埼玉県における総合型地域スポーツクラブに対する育成の研究

スポーツクラブマネジメントコース

5007A311-1 加藤裕之

研究指導教員： 間野義之准教授

我が国におけるスポーツクラブの歴史は、明治時代に横浜の外国人居留地にはじまり、特定の階層を中心にスポーツやスポーツクラブが広まった。第2次世界大戦後には、文部省(当時)でいち早くスポーツ活動とグループを職場、学校、地域につくることを提案してきた。1970年には、旧自治省が中心となって「モデルコミュニティ指定事業」が開始され、ドイツやヨーロッパのスポーツクラブが研究され、我が国にもスポーツクラブづくりの基盤がつくられた。1977年には、文部省により「地域スポーツクラブ育成指定市町村」(補助事業 506 市町村)なども行われた。1987年から1994年までは、「地域スポーツクラブ連合育成事業」(助成金年 300 万円 2 ヶ年)が展開された。そして、1995 年より現在の総合型地域スポーツクラブ育成のモデルとなる「総合型地域スポーツクラブ育成モデル事業」が開始された。その後、2000 年 9 月にスポーツ振興基本計画が策定され、2010 年までに全国の市区町村に少なくとも 1 つの総合型地域スポーツクラブを育成することが目標となった。

2000 年のスポーツ振興基本計画以前のスポーツクラブに関わる施策は、行政主導の画一的な手法がほとんどであった。そのため、地域住民の主体性はほとんど生まれてこなかった。また、スポーツ振興においても、学校や企業に依存してきた経緯が多く見られた。2000 年のスポーツ振興基本計画以降は、地域が主体となってスポーツの自立したシステムをつくる真のスタートであり、スポーツを取り巻く社会環境が大きく変化する中を打破していかなければならない。それらを具現化する方策として、総合型地域スポーツクラブの育成が今求められている。

スポーツ振興基本計画は、スポーツ振興法(1961 年)の第 4 条に基づき、ようやく 40 年もの時を経て 2000 年 9 月に文部科学省により策定された。この計画は、2001 年度から 2010 年度までの 10 年間で達成すべき目標や具体的施策について定めている。その中でも、「生涯スポーツ社会の実現に向けた、地域におけるスポーツ環境の整備充実方策」に関しては、国民の誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味・目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現と、できるかぎり早期に成人の週 1 回以上のスポー

ツ実施率を 50%に引き上げることを政策目標としている。そして、これらの政策目標を達成するために必要不可欠な施策として、全国の市区町村において少なくとも 1 つは総合型地域スポーツクラブを育成することと、各都道府県において少なくとも 1 つは広域スポーツセンターを育成することが到達目標として掲げられている。

埼玉県では、埼玉県スポーツ振興基本計画(彩の国スポーツプラン 2010)を平成 11 年 3 月に策定した。この計画は、スポーツ振興法に基づき、平成 11 年から平成 22 年までの埼玉県のスポーツ振興に関わる基本的な指針を定めている。計画全体の数値目標では、20 歳以上の県民のうち 55%が週 1 回以上スポーツを行うことを目指している。「生涯スポーツの振興と健康体力づくり」の推進に関しては、総合型地域スポーツクラブ(ふあいぶるクラブ)の育成が重点施策となっており、県内市町村数(70 市町村)と同数の総合型地域スポーツクラブを育成することを目指している。

埼玉県における総合型地域スポーツクラブ育成の課題は、本県の目標(彩の国スポーツプラン 2010)である市町村(70 市町村)と同数の総合型地域スポーツクラブの育成となっているが、国の目標(スポーツ振興基本計画)である全ての市町村に少なくとも 1 つのクラブをつくるという目標設定より低い設定になっているにもかかわらず、28 クラブの設立までにしか至っていない(平成 19 年 7 月現在)。

本研究は、スポーツ振興基本計画に基づき、埼玉県全市町村に総合型地域スポーツクラブを設立するために、各市町村別の動向を検証し、最も効果的な育成モデルを構築することを目的とした。

研究では、総合型地域スポーツクラブ育成に向けた、評価項目の設定を行った。評価項目については、スポーツ振興基本計画にある総合型地域スポーツクラブ育成の課題及び各主体(地方公共団体、スポーツ団体、地域住民、学校、企業等)の今後の具体的施策展開より項目を抽出した。埼玉県の市町村別設立要件の評価から、評価の高い市町村へのアプローチを行った。行政担当者及びキーパーソン(地域のスポーツ関係者等)への働きかけによって、総合型地域スポーツクラブ設立に向けた動きが進展することとなった。